

せいれんかたあと 精煉方跡

発掘調査現地説明会

(開催日時) 令和4年11月26日(土) 10:00~12:00
(主催) 佐賀市地域振興部 文化財課

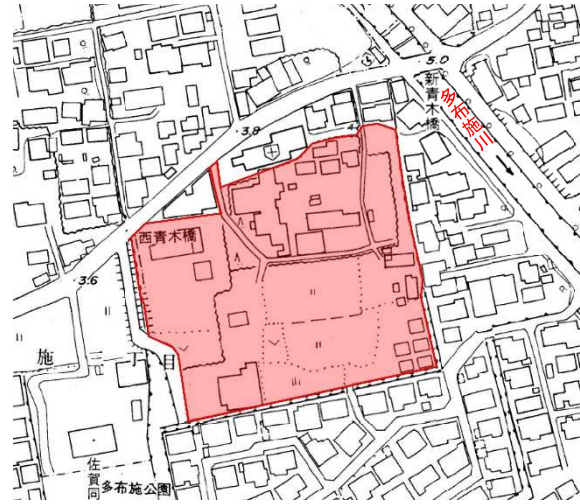


図1 精煉方跡位置図

【調査地】佐賀市多布施3丁目
【調査面積】90㎡
【調査期間】令和4年10月21日~12月27日(予定)

1. 精煉方とは

長崎警備の大役を担っていた佐賀藩が、軍備の近代化を進めるために、西洋の先進知識と技術を導入すべく、嘉永5年(1852)11月に設けた、今でいう理化学研究所的な施設です。この場所は、かつて佐賀藩の重臣である鍋島主水家の屋敷地でした。
佐賀藩士の佐野常民によって、京都にいた中村奇輔、石黒寛二、田中久重・田中儀右衛門父子などの有能な技術者が集められ、最新

技術の研究が行われました。

当初、多布施反射炉の大砲鑄造を補助するため、洋書の翻訳や火薬などの研究を行っていましたが、次第にその範囲を広げ、後には蒸気機関や電信機など多岐にわたる研究を行っています。

また、ここで行われた薬剤・火薬などの試験で用いられたガラス技術は、明治時代に精煉社として民間経営に移行後、佐賀精煉合資会社へと発展し、理化学用材から日用雑器にいたるガラス製品を製造しました。

2. 精煉方跡のこれまでの調査

調査地は、鍋島主水家屋敷地→精煉方→精煉社→精煉合資会社と変遷し、施設も同じような位置にあることから、それぞれの主要な遺構は重なり合っており、検出した遺構の位置づけを確認しながら調査を進めています。

○平成21年度：明治6年頃の状況を描いた「精煉方略図」(明治6年頃の精煉方の敷地内の状況を描いた略図と伝えられています。)を基に試掘調査を実施しました。

(成果)江戸期の整地面や「精煉方略図」に田中久重・田中儀右衛門父子、中村奇輔居宅と記された場所(図2 No.7・8TR)で、建物の基礎(礎石や礎石の根固め遺構)などを確認しました。

○平成30年度：精煉合資会社のガラス工場本体部分の試掘調査を実施しました。

(成果)精煉社から精煉合資会社の時期に造成された工場の整地面を4面確認し、ガラスの溶解炉跡やレンガ組みの遺構など、ガラス製造に関わる遺構を検出することができました。また、その下部からは精煉方期の可能性が高い製鉄関連の土坑が確認されました。

○令和元年度：敷地北東部(精煉方期の紙漉場推定地および精煉合資会社期の職工住宅推定地)の試掘調査を実施しました。

(成果)精煉方期の可能性が高い建物の痕跡、精煉合資会社期と推定される建物跡・レンガ組みの柵・水路跡を検出しました。(図2右上)

3. 令和4年度の調査概要

○確実な江戸時代の地層の把握と平成21年度の調査で確認された建物跡の広がりを確認するため、平成21年度のNo.7トレンチの西側に調査区を設定し調査を実施しました。

(成果)平成21年度に確認された建物跡と関連する遺構(礎石など)や埋甕遺構等を確認しています。

4. 今後の調査について

○今年度の調査成果を基に、敷地内における江戸期の整地面の広がりや遺構の分布及び残存状況を把握するため、継続して発掘調査を行う予定にしています。

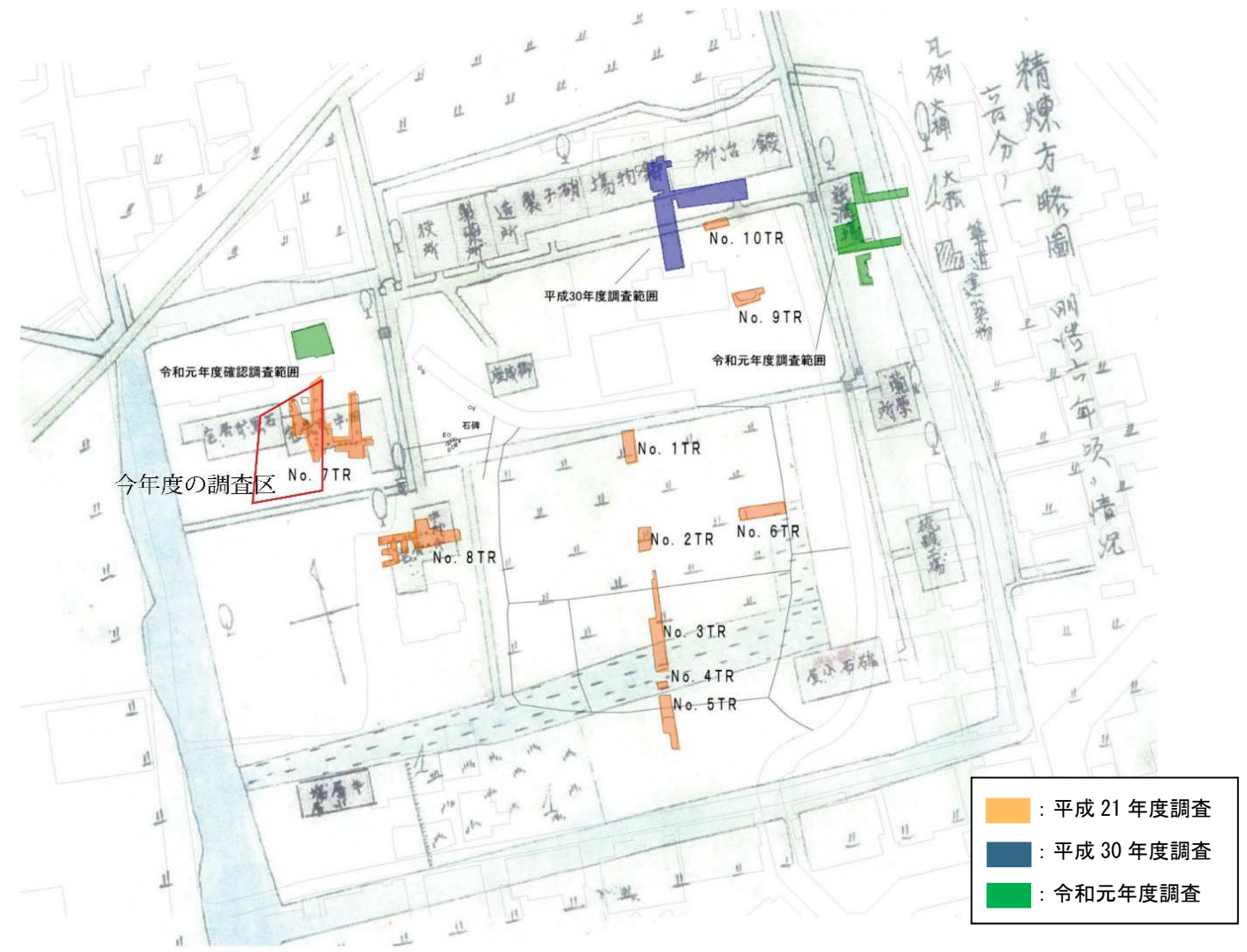


図2 「精煉方略図」(公益財団法人鍋島報効会所蔵)に各年度調査区を合成



写真1 平成30年度調査：精煉方期の可能性が高い製鉄関連土坑と精煉社から精煉合資会社の時期のガラス工場レンガ組み遺構



写真2 令和元年度調査：精煉方期の可能性が高い建物跡と精煉合資会社期と推定される水路跡

精煉方跡 遺構配置図

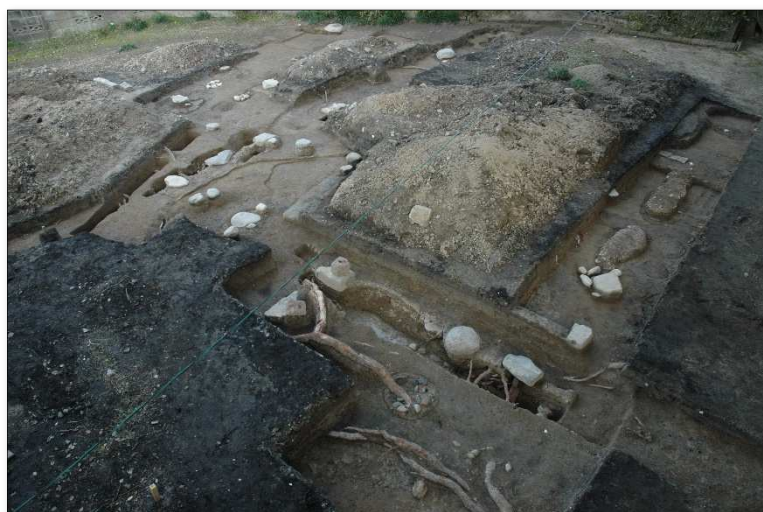
H21 年度+R4 年度調査区



1. R4 年度調査区全景（南東側から撮影）



2. 埋葬遺構検出状況（東側から撮影）



3. H21 年度（7トレンチ）全景（南東側から撮影）



4. 礎石及び根固検出状況（南側から）



5. 礎石検出状況（南西から撮影）：H21 年度調査



6. 礎石及び布基礎検出状況（西側から撮影）：H21 年度調査

精煉方跡発掘調査 現地説明会資料（文献調査編）

「石黒貫二其外置物帳」にみる精煉方住居について

慶応3年(1867)10月時点で精煉方の石黒寛二・中村奇輔・田中久重・儀右衛門父子らの住居にあった諸道具が記されている。このうち、中村家・田中家住居にあった諸道具からわかる精煉方住居の様子について紹介する。

※ただし、元治元年(1864)、田中久重は久留米藩兼務となり、養子嗣儀右衛門に精煉方を任せていた。同年9月10日、不幸な事故により、儀右衛門は長子岩次郎と共に長崎で歿している(墓は天祐寺)。これを受けて、中村奇輔次男林太郎が田中家の嗣子となり、儀右衛門の跡を継いでいる。

1. 「石黒貫二其外置物帳」とは？

鍋島家文庫の「達帳」(鍋 326-71、公益財団法人鍋島報効会所蔵・佐賀県立図書館寄託)に綴じ込まれた横帳で、表題は「慶応二年寅十月より同三年卯九月迄／石黒貫二其外置物帳／精煉方」(以下、「置物帳」と表記)、作成時期は「卯十月」とある。これによると、先日、石黒らを佐賀藩に雇い入れた際、「置物帳」にある諸道具を貸与していたが、そのまま返納不要としたことがわかる。

2. 「かまど(へっつい)」

中村家住居

「松へっつい台」は、都市部や長屋でよく見られる木製台付きの移動式かまどと考えられ、この場合、かまど跡は出ない。また、「式ツへっつい台共」も移動式かまどと考えられる。

田中家住居

「三ツへっつい」は三口かまどので、据え付けかまどなので、土間から焼土層が確認される可能性が高い。また、三口かまどのうち一口は大型であることが多い。

3. 「蚊帳」

中村家住居

蚊帳は「五六蚊帳(三畳間用)」「五七蚊帳(四畳間用)」「五八蚊帳(五畳間用)」の3張。3部屋以上あり、そのうち寝室が3部屋。

田中家住居

蚊帳は「六七蚊帳(4畳半用)」の1張。

4. まとめ

中村家住居

- ・ 移動式かまどなので、かまど跡は出ない可能性がある。
- ・ 蚊帳のサイズから、畳を横に並べたような細長い三畳間・四畳間・五畳間の部屋があった。

田中家住居

- ・ 据え付けの三口かまどなので、土間から焼土層が出る可能性が高い。
- ・ 布団の数が多いので、寝室は四畳半の部屋以外にもある可能性がある。

鍋326-71「達帳」 諸道具一覧表

石黒貫二・福谷啓吉住居置物		田中近江父子住居 (田中林太郎受取まへ) 置物							
爪付台火鉢	1ツ	敷蒲団三ツ木綿	3幅	火箸	2具	味噌越同	1ツ	水瓶ふた	1ツ
茶出シ	1ツ	中足膳	3枚	大小鉄同	2具	火打道具 箱除ケ	1揃	火打箱	1ツ
茶わん	5ツ	射場枕 ふとん共	3ツ	鉄手燭	1間	きび箒	1本	炭取	1ツ
小茶出シ	1ツ	箸箱 箸共	3ツ	手水鉢	2ツ	すぼ同	1本	庖丁差	1ツ
小柄杓	1本	中皿	3ツ	尾崎焼半胴	1ツ	株杓 (棕櫚力) 同	1本	摺木	1本
手水小通	1ツ	素良茶わん ふた共	6ツ	竹柄杓	2本	大水甕	1本	手水小通大小	2ツ
箸箱 箸共	2ツ	塵	9枚	飯杓子	2本	小水甕	1本	柄附小通大小	2ツ
棕櫚箒	1本	六七蚊屋	1張	貝同	2本	鉢大小	3ツ	茶船 下水共	1ツ
火箸	1具	ふとん	5ツ	茶わん	10ツ	井大小	3ツ	提樽	2ツ
計9件		箒筍	1間	式升焚羽釜 ふた共	1ツ	式升入徳利	1本	大たらい	1ツ
		硯箱 石水入共	1ツ	三升同 右同	1ツ	出刃包丁	1本	飯櫃	1ツ
		胴切火鉢	5ツ	壺升なべ 右同釣共	1ツ	薄刃同	1本	五合入柄杓	1本
		尾崎焼爪付火鉢	1ツ	式升同 右同	1ツ	切盤	1ツ	端居	1ツ
		丸行燈 小道具共	1間	鉄火救 (掬力)	1ツ	榎津戸棚	1間	計67件	
		銅油差	1ツ	水能	1ツ	三ツへつゝい	1ツ		
		油徳利	1ツ	摺鉢	1ツ	鯉箱	1ツ		
		大胴切火鉢	1ツ	飯菓請	1ツ	芥取	1ツ		
		茶出シ 釣共	1ツ	大小菓請	2ツ	三斗入米櫃	1ツ		

中村奇輔住居置物									
火箸	2具	茶出釣	1ツ	中足膳	1枚	小瓶	2本	四段重 替ふた共	1組
木具膳	1枚	蒲団	2ツ	素良茶碗 ふた共	2ツ	尾崎焼半胴 ふた共	1ツ	芥取	1ツ
塗箸箱	2ツ	敷ふとん	2ツ	中皿	1ツ	手水小通	1ツ	摺小木	1本
黒塗文庫	1ツ	上櫛	1組	小皿	1ツ	柄付同	1ツ	火打箱	1ツ
鉄手燭	1間	砥石	1ツ	箸箱 箸共	1ツ	提樽	2ツ	水瓶ふた	1ツ
砥出硯箱	1間	剃刀	1面	式升羽釜 ふた共	1ツ	鉢大小	4ツ	戸棚	1間
硯石赤間関	1丁	鋏	1口	式升鉄鍋 右同但釣共	1ツ	茶わん	5ツ	五六古蚊屋	1張
丸行燈	1間	小形鏡	2面	壺升なべ 右同但右同	1ツ	壺升徳利	1本	松箱 高壺尺壺寸五部 長式尺九寸横壺尺壺寸	1ツ
唐金すすき	1組	鉄なて	1本	式升同 右同	1ツ	壺升五合入同	1本	松へつゝい台 長式尺壺 寸五部横壺尺六寸	1ツ
しみ押	1ツ	びん道具入箱	1ツ	三升羽釜 右同	1ツ	式升入同	2本	式ツへつゝい 台共	1ツ
銅油差	1ツ	白木箒筍	1間	火救 (掬力)	1ツ	焼物油差	1ツ	鯉箱	1ツ
銅下皿	1ツ	炭取	1ツ	飯菓請	1ツ	京焼茶出シ 釣共	1ツ	□ (炭力) 取	1ツ
焼物水入	1ツ	五八蚊屋	1張	摺鉢	1ツ	出刃庖丁	1本	火鉢乗セ板	1枚
砥出射場枕ふとん共	2ツ	手水鉢	3ツ	切盤	1ツ	薄刃同	1本	丸小行燈 小道具共	1間
手水小通大	1ツ	溜塗箸筍	1間	火打道具	1揃	鉄火箸	1具	ふとん	2ツ
爪附火鉢	1ツ	木綿ふとん	2ツ	茶船 下水共	1ツ	火箸	2具	箒筍	1間
半櫃	1ツ	木綿敷ふとん	1ツ	塗飯櫃	1ツ	胴切大火鉢	1ツ	五七蚊屋	1張
飯つき ふた共	1ツ	胴切火鉢	2ツ	水瓶	1本	同小同	1ツ	計89件	